

近畿比例に小村潤さん 衆院候補（第3次）を発表

捲土重来へ4人目

日本共産党は2日、次期総選挙に向けた衆院比例代表予定候補の第3次分として3氏を追加しました。近畿ブロック（定数28）からは兵庫・尼崎市議の小村潤（こむら・じゅん）さん（44・新）＝兵庫8区との重複＝が発表されました。発表済みの第1次、2次分とあわせると日本共産党の衆院比例予定候補は計24人。女性候補は9人（38％）で全体の平均年齢は54歳。

近畿ブロックでは第一次で、こくた恵二（72）現、宮本たけし（59）前、清水ただし（51）現の3氏が発表されています。

衆院近畿ブロックでは前回4議席から2議席へ後退。次期総選挙で捲土重来を期します。

小村さんの略歴

1975年8月15日生。44歳。尼崎市議（1期）。2013年入党。98年京都市立芸大美術学部デザイン科卒。兵庫県立高校などで美術非常勤講師、滋賀リビングカルチャーセンターでバリ舞踊講師。保育園父母の会会長、小学校PTA会長、中学校育友会長など歴任。17年尼崎市議に初当選。【趣味】バリ舞踊、和太鼓、インドネシア語【家族】夫、一男二女



「比例を軸に」、要求実現の取り組み強化を

近畿国政事務所長会議

近畿2府4県の国政事務所長会議が11月28日、近

畿ブロック事務所で行われ、第27回党大会議案とブロック事務所報告にもとづく討論を行い、総選挙に向け、「比例を軸に」の活動、要求実現活動の強化を意思統一しました。会議には柳利昭ブロック責任者（大阪府委員長）も参加し発言しました。

林信一郎ブロック事務所長が報告。「比例を軸に」とは、選挙戦にとどまらず「あらゆる党活動の軸」であることを指摘、中央決定で「比例を軸」の方針がどう発展させられてきたのかを詳細に説明しました。そして大会決議案で述べられている「比例代表選挙を自らの選挙にする」うえで党議席の値打ちを広げる活動を抜本的に強化することを強調しました。

要求実現の活動では、近畿共通の要求課題を近畿ブロック事務所がイニシアチブを発揮して精力的に取り組んできたことを紹介。いま再生可能エネルギー施設による自然・環境破壊問題、公立病院統合・再編問題などが大きな問題になっていることを示し、府県をまたがって要求運動に取り組むことをのべました。また、選挙へ全府県が政府交渉を行うこと、小選挙区や地域単位での交渉すること、国会報告・要求懇談会をよく準備して成功させることを呼びかけました。

討論では、「大運動」の経験交流、綱領改定案への共感、「桜を見る会」問題の反響の大きさ、要求実現活動でも共同の取り組みの重要性が語られました。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 32(2019.12.3)